

第13期生

～知ればもっと楽しくなる～  
**⑳日本の伝統芸能と民俗文化財を学ぶ～**  
 短期講座

茨木教室・水曜日

2025年度

2024年10月6日

講師：大阪音楽大学講師 北見 真智子/ 講談師 玉田 玉秀斎

教室：☆茨木市 クリエイトセンター

				午前(10:00~11:50)		午後(13:00~15:00)		教室			
回	月	日	曜	学習テーマ	講師	ホームルーム“みんなで企画、楽しく活動”		AM	PM		
1	4			<b>入学式</b>							
2	4	9	水	「無形」の「文化財」「民俗文化財」について(全体の導入として、日本における世界無形遺産・無形文化財の芸能について概説します。)	北見	オリエンテーション		☆	☆		
3	5	14	水	1) 能楽 [昭和32年・重要無形文化財指定] (能楽とは能と狂言の総称のこと。能は14世紀に大成して以降、600年を超える歴史を持ち、後の人形浄瑠璃や歌舞伎などにも大きな影響を与えました。その特徴を解説します。)	北見	ホームルーム(クラス活動検討)		☆	☆		
4	6	11	水	2) 人形浄瑠璃文楽 [昭和30年・重要無形文化財指定] (太夫の語りと三味線、そして人形が一体となった人形浄瑠璃の舞台は魅力にあふれています。大阪ブランドの芸能を学びます。)	北見			☆	×		
5	7	9	水	3) 歌舞伎 [昭和40年・重要無形文化財指定] (歌舞伎は、1603年に京の都でお国が中心となって演じた芸能が始まりとされています。400年以上の歴史を持つ歌舞伎の魅力をご紹介します。)	北見	クラス活動		☆	☆		
8				<b>夏休み</b>							
6	9	10	水	4) 組踊 [昭和47年・重要無形文化財指定] (沖縄の伝統芸能の一つである組踊は、18世紀に中国からの冊封使を歓待するために創作、宮廷で踊られたものです。映像とともに解説します。)	北見			☆	×		
7	10	8	水	5) 神楽 (神事芸能の代表である神楽は、古くは「神遊び」とも称され、現在では、宮中の「御神楽」と各地の神社で行われる「里神楽」とがあります。今回は後者の民俗芸能として伝わる神楽をご紹介します。)	北見	クラス活動		☆	☆		
8	11	12	水	★彦根城博物館にて学ぶ	北見			×	×		
9	12	10	水	6) 山・鉾・屋台行事(祇園祭) (地域の人々が担う祭礼行事の一つである「山・鉾・屋台行事」。その中から、昭和54年に重要無形民俗文化財に指定された「京都祇園祭の山鉾行事」を取り上げて説明します。)	北見			☆	×		
10	1	14	水	7) 講談	玉秀斎			☆	×		
11	2	18	水	8) 風流踊(念仏踊) (「風流踊」は、歌や笛・太鼓・鉦などの囃子に合わせてにぎやかに踊る民俗芸能の一つです。令和4年に41件の民俗芸能「風流踊」がユネスコ無形文化遺産に登録されました。)	北見	クラス活動		☆	☆		

一般講座	11回	入学式	1回
------	-----	-----	----

※座学講座の場合、3回の午後活動を入れてください

大学提携・共通講座は10月27日(月) ふれあい交流祭11月18日(火)

【注】カリキュラムは変更する場合があります。また、教室についても公共施設を使用しているため抽選による変更があります。